鈴木清斎、宮川道生、神岡玄良、藤林良文、伊那玄伯、茅野潤民、江坂文貞、土領養安、鰐石栄宅、松永頼石、松永峰太郎、竹田浩哉、（新発田）稲垣周栄、（柏浦）海津祐琢、桜井東一郎、（小地谷）木村東眠、（関原）木村謙斎

この記録にはないその他の柏崎北陸道大病院勤務を加えると、柏崎町聞光寺を中心として行われた軍陣医療に動員された要員は膨大なものであったと推定できる。池田玄斎が記録した患者だけでも計一八六名であることからも、この病院での診療症例もまた膨大なものであったことが推定される。現存している当時の診療録を資料として、当時の医療の実際を軍陣外科学的な視野から具体的な症例検討を行い、その結果を報告する。戦乱のあった越後地方の在野医師が詳細に記録した新発掘の『北陸道大病院ウイリス先生診察記』を紹介し、あわせて幕末明治初期のウイリスの医療活動を再評価してみたい。

（新潟医学洋学史研究所）

鎌倉幕府の京下官医受容形態の考察

奥富敬之

問題点

古代末期以来の京都政権の形骸化と中世初頭の鎌倉幕府の成立とは、典薬寮・施薬院などに本拠を置いていた官医の多くを、鎌倉に下向させることになったと思われる。このことは、中央の先進医学を地方に伝播させることになったはずである。

本小論は、官医の鎌倉下向に対する幕府の対応態度と、これによる官医の鎌倉における存在形態との解明を図ったものである。便宜上鎌倉幕府政治の三区分に従って、主要な史料の概要を列記し、その評価、解釈などは学会の席上で述べたいと思う。

将軍独裁制期

この時期における幕府と官医との交渉は三例ある（『吾

妻鏡』)。

建久三年(一一九二)七月八日、北條政子の不例を懐孕と診断した「医師三條左近将監」某は、官医だったと思われる。下向の時期と情況、その後の動向など、まったく不明である。

建久五年九月二十六日、頼朝の歯痛の療法を尋ねさせるため、上洛の飛脚が立った。同年十月十七日、丹波頼基が、薬とともに療法を書いた書簡を鎌倉に送った。この頃、頼基は典薬頭だった。同時に、これより以前に、三河国羽渭荘を頼朝から拝領していた存在でもあった。

同十年三月十二日、頼朝の乙姫三幡の病気治療のため、針博士丹波時長が幕府から招かれた。実は、これより以前から招かれていたのだが、固辞していたのである。この日、専使が差遣され、同時に、後鳥羽院に対しても、この由奏達のことが令された。

五月七日、時長が下着した。翌日、乙姫に朱砂丸を献じて、砂金二十両などの禄を与えられた。六月十四日に乙姫の病状は悪化したが、同二十六日、多くの禄などを受けて、時長は帰洛した。同三十日、乙姫は死んだ。

執権政治期

この時期には、鎌倉にいた官医の名が七例以上見られる(『吾妻鏡』)。

承久元年(一二一九)七月十九日、四代将軍九條三寅の関東下向に「権侍医頼経」が供奉していた。

以降、同二年八月六日と同四年二月十二日の一條実雅室(義時女)の出産、貞応元年(一二二二)十二月十二日の義時室の出産、および嘉禄元年(一二二五)七月六日より以前の政子の病気などに、頼経の名がある。

嘉禄元年六月二十一日、政子の治療関係で、発言した「医師行蓮」は、官医でなく、僧医であろう。同七月六日、頼経にかわって政子の治療にあたることになった「前権侍医和気定基」は官医である。

寛元三年(一二四五)二月十日、前将軍頼経の飲水の病につき、医道五人の宿直当番がきまった。権侍医典薬頭丹波時長、女医博士丹波頼行(幸)、大学助丹波忠憲、雅楽頭丹波以長、施薬院司使丹波広長の五人である。いずれも、これより以前に下向しており、以降も鎌倉で禄などを受けている。

得宗専制期

この時期に入ると、鎌倉には多数の官医が常任していたようである。『吾妻鏡』にはもちろん、多くの古文書類にその名が頻見されるのである。とくに『金沢文庫古文書』に多いことは、この時期の様子を、よく示しているといえよう。

ところで、鎌倉幕府を一貫していた京下官医に対する態度が、『香取文書』に引かれている幕府法に、明瞭に示されている。

偏雖浴関東御恩、郷相雲客医陰両道以下者、不可号御家人。

鎌倉時代初期の将軍独裁制期の鎌倉は、官医たちにとって魅力のあるところではなかった。この時期の丹波頼基、時長両人の行動は、このことをよく示している。

そして中期の執権政治期、藤原将軍と共に下向したが、御家人になることはできなかった。しかし、承久の乱後、魅力を増した鎌倉に、官医の下向は増大した。

下向はしたものの御家人にはなれなかった官医たちが選んだ途は、得宗被官になることだった。得宗被官名簿ともいうべき徳治二年（一三〇七）五月『円覚寺文書』中の「権医博士」、元徳三年（一三三一）八月、長崎父子誅伐を高時から命ぜられた典薬頭丹波長朝、『金沢文庫古文書』に頻見される医師たちは、このことを如実に示している。

（日本医科大学）